

松本市の行政評価

1 はじめに

時代に即した行政需要に的確に対応し、市民サービスのより一層の向上を図るとともに、第10次基本計画の着実な推進を図るため、新たな行政評価制度を実施しました。

2 行政評価とは

一般的に、「行政の活動を何らかの統一的な視点や手段によって客観的に評価し、その評価結果を行政運営に反映させるシステム」をいいます。

3 松本市の行政評価

(1) 位置付け

P D C A (Plan 計画→Do 実施→Check 評価→Action 見直し) という経営のマネジメントサイクルにおけるC機能として「事務事業の選択と集中」の具現化(業務の有効性及び効率性の確保)を図るシステムとして実施します。

(2) 目的

- ア 成果を重視した評価によって事務事業効果を明確にし、総合計画の更なる推進、事務事業の効率的な実施等を図ること。
- イ 事務事業の目的や成果を市民に公表することにより、行政としての説明責任を果たすこと。

(3) 実施内容

- ア 内部評価 …… 庁内評価
- イ 外部評価 …… 市民委員会
- ウ 市民満足度調査 …… 市民を対象としたアンケート調査

(4) 内部評価

「事業の狙い」、「事業の内容・実績」、「指標の達成状況」、「コスト」、「現状に対する認識」を明確にし、事務事業の実施担当課が評価を行います。

(5) 外部評価(市民委員会)

市が自ら実施した内部評価を基に、施策の進捗状況を客観的な視点から検証します。

(6) その他

行政評価の結果については、実施計画、予算編成、行政改革を通して、翌年度以降の事務事業に反映することとしています。

4 市民委員会

(1) 委員

ア 有識者 2名

大学関係者 2名（信州大学、松本大学）

イ 市民 20名

男女別、年代別の無作為100名の市民の方に就任をお願いし、20名の方から承諾をいただきました。

ウ 任期

就任年度の末日まで。

(2) 施策の推進に対する意見（14施策程度）

着実な施策の推進を図るため、**事務事業そのものの評価ではなく、事業の狙い、事業内容、現状に対する認識、指標の達成状況**、に着目し、全体を通したその事業の進捗状況から、次の項目について意見を述べていただきました。

ア 施策の評価

基本施策から抽出した事業（2事業）について、事業全体が狙いに向けて進捗しているか、現状に対する認識が正確に把握されているか。

イ 指標の達成状況

指標の達成状況が平成32年度の目標に向かっているか。

(3) 評価方法

各委員が2班に分かれて、抽出事業に対し、上記で述べた視点から、委員の皆様が事業に対して感じられた意見を述べていただきました。

事務事業評価票の見方

(例)

事務事業評価票

作成日 平成29年9月26日

事務事業名	市民歩こう運動推進事業
会 計 名	一般会計
予算中事業名	市民歩こう運動推進事業費

部局名	健康福祉部	課 名	福祉計画課	課CD	05100000
-----	-------	-----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち	市長公約	主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
「健康寿命延伸都市・松本」の実現に向けて、全市的に「市民歩こう運動」を推進・展開し、「歩くこと」による健康の維持増進を図ります。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞	事業の具体的な実施内容と実績値
1 ウォーキングマップ等を利用したウォーキングイベント ・地区ウォーキングイベント 299回 7,202人	
2 10月を推進強化月間とし、歩こう松本！スタンプラリーを展開する等の啓発活動を実施 ・イベント参加者 384人	
3 推進地区で健康づくり講座を開催し、ウォーキングを実践していない市民の掘り起しと、歩く習慣の定着化を図る。 ・ウォーキングイベント4地区開催 1,199人参加	
4 若い世代の親子を対象としたウォーキングイベントや記録紙の配布 ・地域実践者 大人242人 子ども32人	
5 働く世代を対象とした、歩きを取入れた健康づくりを、企業向けに提案	

＜現状に対する認識＞	担当課の現状に対する認識
健康の維持増進を図るため、歩くことの必要性を普及し、イベントの開催等によるきっかけづくりや習慣化のための仕組みづくりを継続します。 働く世代に対する働きかけの一環として、企業に対する歩きを取入れた健康づくりの提案を引き続き行います。	

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業参加者延人数				
目標値	9300	9600			
実績値	9059				
達成度	97.4%	0%			
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

総合評価基準(%数値は成果指標の達成度)
 A: 順調(80%以上)
 B: おおむね順調(60~79%)
 C: 改善が必要(40~59%)
 D: 大幅な事業改善が必要(20~39%)
 E: 目標達成困難(20%未満)
 ※事業の中には目標値を達成していても、B評価とし、更なる目標達成を目指している事業もあります。

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,640				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,640				
② 人件費(千円)	2,635	人工	人工	人工	人工
正規	1,923	0.25			
嘱託	713	0.25			
合計コスト①+②	5,275				
前年度比	—				

事業費の内訳です。一般財源とは松本市が負担している事業

事業に要した年間の人工です。人件費は市の平均給